

民意の反映をどのように行っていくのか？ 住民投票は考えられるか？

○野田議員

住民投票をするまでもなく、議会議員も行政側も、きちんとこう考えているという形、自分はこのなんだという形を、一人一人がみんな出すことによって、民意が議論されるのではないかと。また、双方ともっと自分の考え方をきちんと述べる必要がある。

○松島議員

議会議員が議決したことが民意が反映されたという前提に立っています。住民投票を行うことに反対するわけでもないが、投票率がどのくらいあるのかという問題もある。住民投票はあくまで参考意見程度に考えるのが議会議員の務め。

○熊谷議員

アンケートの繰り返しとか新卒の議論とか、もっと顔を突き合わせた意見・ディスカッションとか意見交換、そういう形で民意の反映を図っていく。住民投票は合意を得るための一つの手段、とにかく議論を尽くすこと。

○大野町長

住民投票をしないと民意が図れないということになればやらざるを得ない。ある意味、議会を否定する形になるので、議会が本来は最終的に決定するものと思います。議員は町民の皆さんに選ばれたわけですので、住民投票をしない形で結論を出せるのが一番いい。

印旛都市 10 市町村（四街道市を除く）の統合が理想ではないかと思うがどうか？

○松島議員

あまり大規模な合併は、独自性がなくなってしまうのではないかと。個性を発揮しろといながら大きな合併をしろといっている。これは矛盾だと思う。また、住民の顔が見えない。住民同士がわからなくなるような町になるのはあまり賛成できない。

アンケートで、必要であるが 4.4%、どちらかといえば必要を合せ 6.0% を超えるが、どのように受け止めているか？

○大野町長

この結果だけでは分析できないと思う。合併を判断するうえで何が必要ですかという問いに対し、「合併した場合にサービスや位置づけがどうなるかをもって判断したい」という意見が多い。合併はしたほうが良いが思案が必要だという意見と捉えています。

農業で自立できるのではないかとのことだが、具体的にどういうことを考えているか？

○熊谷議員

考え方の基本を食に置いたとき、栄町が本腰を入れて農業政策に取り組み、飢えないで安心して食せるという意味において、栄町の農業を信頼しています。

今町が抱えている負債を、どのような形で返済するのか？

○松島議員

財政の面で合併すれば何とかできるという考えはありません。

○野田議員

合併をするから負債が減るという意味で合併した方がよいとは言っていない。計画があつての借金。合併すれば借金が減るということではありません。

その他の意見

- 町政に対する希望や要望が、合併すればもっと良くなるんじゃないか？ そういった意思の表れが相手方によるも含めて、8.0%という数字になったのではないかと。町独自でやっていくのであれば、住んでいる方が展望が持てるような施策を示さなければならない。
- 町としても経済政策を実施する必要があるのではないかと？ 栄町独自の農業、直売所、インターネットの活用など、活力あるまちづくりを政策化して実施してほしい。
- 住民投票を参考意見程度に捉えるのではなく、最終的にやむを得ないときは、もっと重要な意見として受けとめてほしい。
- 町長に対して、判断できるようなことをできるだけ申し上げて生きたいので、このような機会を何回かつくってほしい。
- 栄町は非常に潜在能力のある夢のある町だと思っています。主体性をなくし地方自治が失われていくことは非常に悲しいこと。色々な施策を打出すことによって、もっと栄える栄町にしていく。